

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 8 日	
枚方市長 殿	
住 所 大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号	
提出者 日本精線株式会社 枚方工場	
氏 名 常務執行役員 枚方工場長	
大塚 雅彦	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 072（840）1261	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本精線株式会社 枚方工場
事業場の所在地	大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	2238 伸線業
② 事業の規模	338億円（令和4年度の製品出荷額）
③ 従業員数	543人（2023年4月1日時点）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本商業規格 A列4番）

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・使用薬剤の更新延長を図る ・強酸の一部を再利用		
②計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・強酸の社内無害化処理方法を探索する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・発生部門毎に廃棄物の種類別に分別を行う。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状継続

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実績なし		
②計画	【今年度（令和 5 年度）目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
②計画	（これまでに実施した取組） ・強酸の一部を社内で中和及び脱水後残渣（汚泥）を社内処理及び処理能力を増強する。		
	【今年度（令和 5 年度）目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・現状を継続		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実績なし		
②計画	【今年度（令和5年度）目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・優良認定業者への処理委託優先 ・低濃度PCBの処分、高濃度PCB廃棄物のJESCO登録 ・収集運搬・処分業者へ定期的に処理状況の確認を実施		

②計画	【今年度（令和 5 年度）目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者への処理委託優先 ・収集運搬・処分業者へ定期的に処理状況の確認を実施 ・再生利用する産廃業者の探索		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	625 t	
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組) ・新たに使用する者へのJWNET操作体験セミナー参加		

【前年度(令和 4 年度)実績】

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府枚方市池之宮4-17-1	日本精練株式会社 枚方工場	設備部		072(840)1364	072(840)1374	

特別管理産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																
コード	名 称	① 排出量(t)	② 自ら直接再生利用した量(t)	③ 自ら直接埋立処分した量(t)	④ 自ら中間処理した量(t)	⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t)	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩ 直接及び自ら処理した後の処理委託量(t)	(⑪＝①－②－③－④－⑤－⑥－⑦－⑧＋⑨＋⑩＋⑪)					⑫ ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑬ ⑫ ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量(t)
												⑪ 再生利用業者への処理委託量(t)	⑫ 熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑬ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	⑭ その他の中間処理委託量(t)	⑮ 埋立処分委託量(t)	⑯ ⑮ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑰ ⑯ ⑮ 優良認定処理業者への処理委託量(t)
1	7000 ①燃えやすい廃油	0.2									0.2	0.2			0.0005		0.0005	
2	7010 ②燃えやすい廃油(基準を超える)																	
3	7100 ③PH2以下の廃酸	601									601	462			139		601	
4	7200 ④PH12以上のアルカリ	23									23	23			0.00002		23	
5	7300 ⑤感染性廃棄物	0.008									0.008				0.008		0.008	
6	7410 ⑥PCB等・PCB汚染物・PCB処理物	0.06									0.06				0.06			
7	7411 ⑦廃PCB																	
8	7421 ⑧廃石綿																	
9	7426 ⑨汚泥(基準値を超える有害物を含む)	0.5									0.5				0.5		0.5	
10	⑩																	
11	⑪																	
12	⑫																	
13	⑬																	
14	⑭																	
15	⑮																	
16	⑯																	
17	⑰																	
18	⑱																	
19	⑲																	
20	⑳																	
合計		625	-	-	-	-	-	-	-	-	625	486	-	-	140	-	625	-

(注) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
また、四捨五入すると「0」と表記されてしまう場合は、小数点以下まで適宜記載してください。

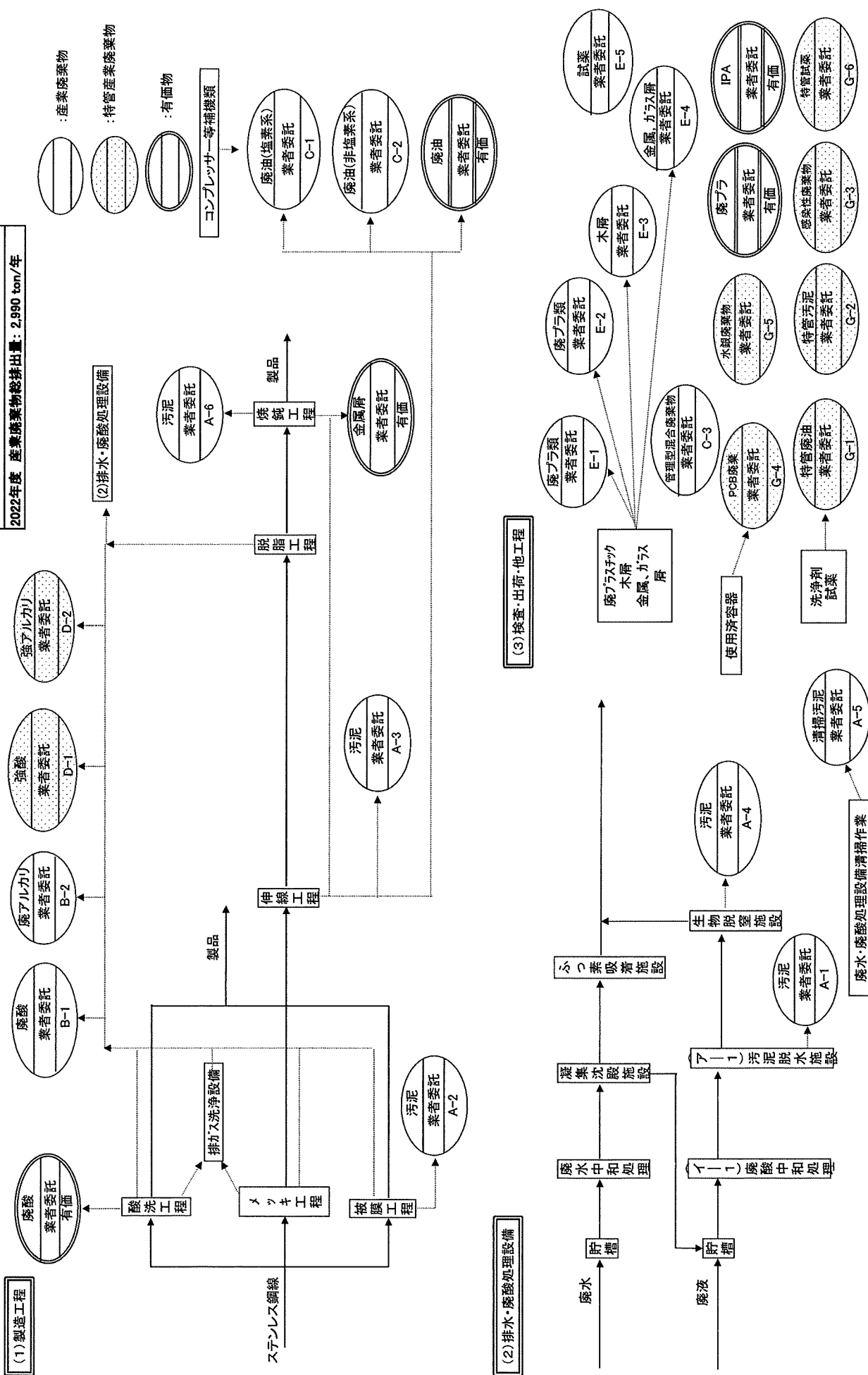
【今年度(令和 5 年度)目標】

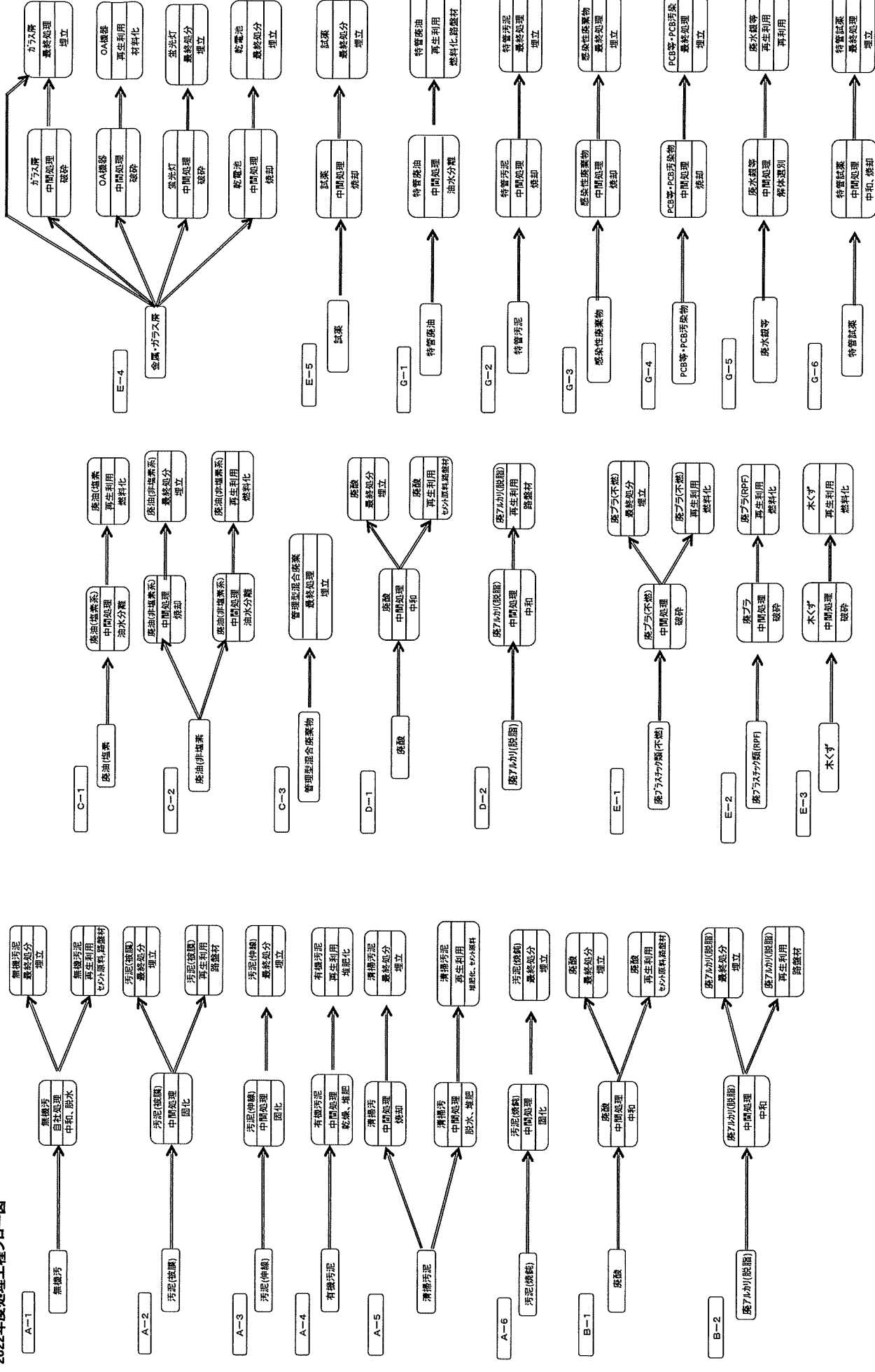
提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府枚方市池之宮4-17-1	日本精練株式会社 枚方工場	設備部		072(840)1364	072(840)1374	

特別管理産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																		2+⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	3+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った量(t)
		① 排出量(t)	② 自ら直接再生利 用した量(t)	③ 自ら直接埋立処 分した量(t)	④ 自ら中間処理し た量(t)	⑤ ④のうち熱回収 を行った量(t)	⑥ 自ら中間処理し た後の残存量(t)	⑦ 自ら中間処理に より減量した量(t)	⑧ 自ら中間処理し た後再生利用し た量(t)	⑨ 自ら中間処理し た後自ら埋立処 分又は海洋投入 処分した量(t)	⑩ 直接及び自ら処 理した後の処理 委託量(t)	(⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒)						⑪ 優良認定処理業 者への処理委託 量(t)			
コード	名 称										⑪ 再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫ 熱回収認定業者への 処理委託量(t)	⑬ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量(t)	⑭ その他の中間 処理委託量(t)	⑮ 埋立処分委託量 (t)	⑯ 優良認定処理業 者への処理委託 量(t)					
コード 番号	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 別	発生した特別管理産 業廃棄物の種類ごと の量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら再 生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋 立処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した特別管 理産業廃棄物の中 間処理前の量	④の量のうち、熱回 収を行った量	④の量から⑥の量 を差し引いた量(自 動計算)	⑥の量のうち、自 ら利用又は他人に売 却した量	⑥の量のうち、自 ら埋立処分又は海洋 投入処分した量	中間処理及び最終処 分を委託した量(自動 計算)	⑭の量のうち、処理 業者への再生利用委 託量(⑪、⑫を除 く)	⑬の量のうち、認定熱 回収施設設置者であ る処理業者への熱回 収委託量	⑬の量のうち、認定熱 回収施設設置者以外 の熱回収を行っている 処理業者への熱回 収委託量	⑭の量のうち、委託 して最終処分した量 (⑮～⑲を除く)	⑮の量のうち、委託 して直接埋立て最終 処分した量	⑯の量のうち、優良 認定処理業者への 処理委託量	②の量と⑧の量を 合計したもの(自動 計算)				
1	7000 ①燃えやすい廃油	0.2					-			0.2	0.2			0.0005	-	0.0005	-				
2	7010 ②燃えやすい廃油 (基準を超える)	-					-			-	-			-	-	-	-				
3	7100 ③PH2以下の廃酸	571					-			571	439			132	-	571	-				
4	7200 ④PH12以上のアルカリ	22					-			22	22			0.0	-	22	-				
5	7300 ⑤感染性廃棄物	0.008					-			0.008	-			0.008	-	0.008	-				
6	7410 ⑥PCB等・PCB汚染 物・PCB処理物	0.06					-			0.06	-			0.06	-	-	-				
7	7411 ⑦廃PCB	-					-			-	-			-	-	-	-				
8	7421 ⑧廃石綿	-					-			-	-			-	-	-	-				
9	7426 ⑨汚泥(基準値を超 える有害物を含む)	0.5					-			0.5	-			0.5	-	0.5	-				
0	⑩	-					-			-							-				
1	⑪	-					-			-							-				
2	⑫	-					-			-							-				
3	⑬	-					-			-							-				
4	⑭	-					-			-							-				
5	⑮	-					-			-							-				
6	⑯	-					-			-							-				
7	⑰	-					-			-							-				
8	⑱	-					-			-							-				
9	⑲	-					-			-							-				
0	⑳	-					-			-							-				
合計		594	-	-	-	-	-	-	-	594	462	-	-	133	-	594	-				

(注) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
また、四捨五入するど0)と表記されてしまう場合は、小数点以下まで適宜記載してください。

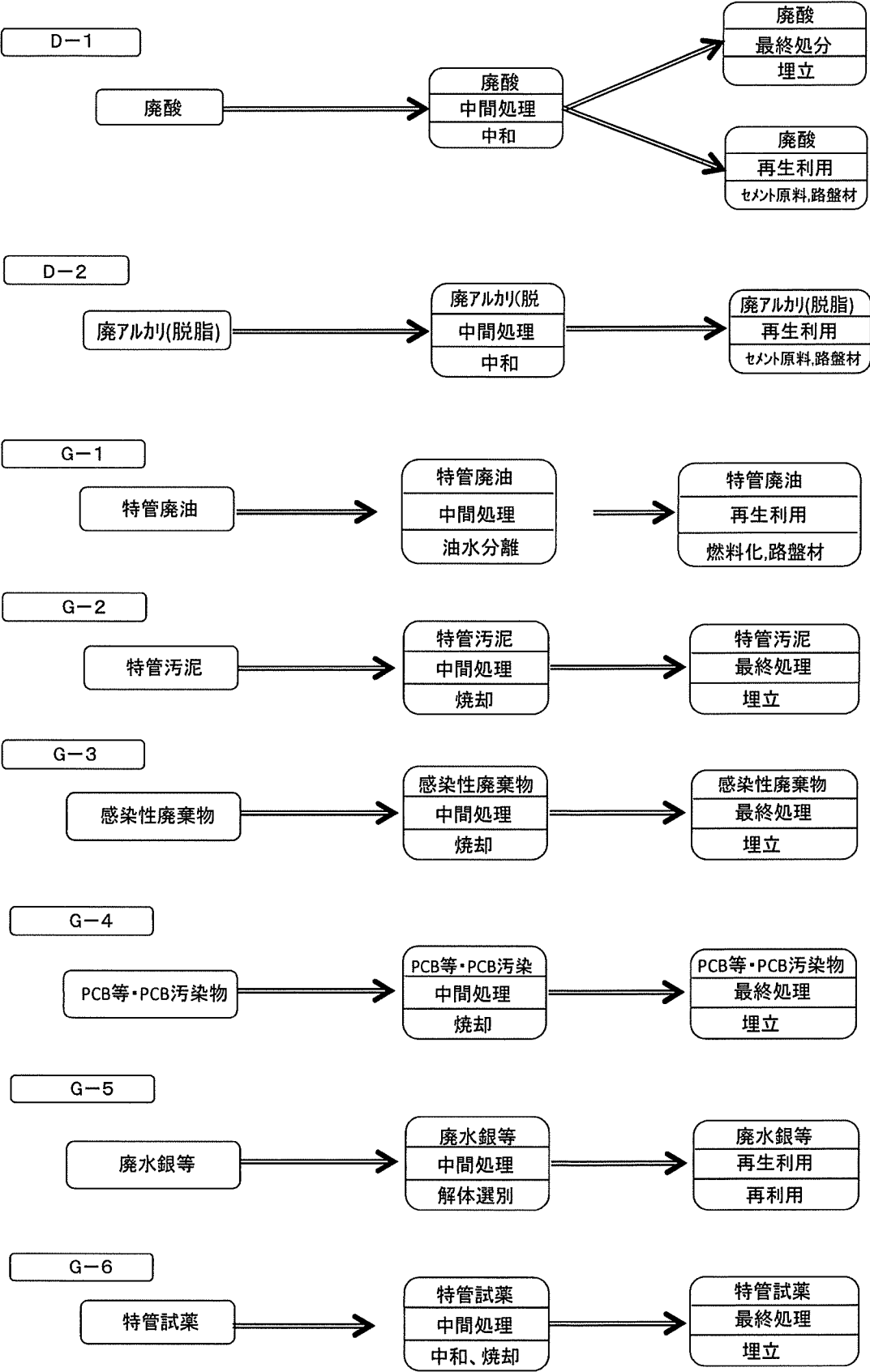
2022年度	産業廃棄物発生量: 20,293 ton/年
2022年度	産業廃棄物総排出量: 2,990 ton/年





2022年度処理工程フロー図

特管のみ



日本精線株式会社枚方工場 産業廃棄物管理組織図

作成 2001/04/02
改訂 2023/4/1
日本精線株式会社枚方工場
設備部 環境室 作成

